

10

広報

2018

第752号

いながたて



今月のおもな内容

村議会9月定例会……………	2
話題いろいろ……………	5
お知らせ……………	7
津軽広域連合だより……………	14
戸籍の窓……………	15

村議会 9 月定例会

第3回議会定例会が9月3日～11日に開かれました。5日には山崎洋議員、福地誠議員、平川重廣議員、鈴木孝一議員、品川正人議員が一般質問を行いましたので、主な内容を要約してお知らせします。

可決された主な案件

予算関係

- 平成30年度一般会計補正予算
- 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算
- 平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度農業集落排水事業会計決算と剰余金処分計算書(案)の認定
- 平成29年度下水道事業会計決算と剰余金処分計算書(案)の認定
- 平成29年度水道事業会計決算と剰余金処分計算書(案)の認定

その他

- 南黒地方福祉事務組合の解散
- 南黒地方福祉事務組合の解散に伴う財産処分
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 教育委員会委員の任命
- 専決処分した事項の報告と承認

一般質問

山崎 洋 議員

りんごの黒星病に対する農家支援

問 (ア) 黒星病の発生に対し、村では薬剤経費を補助する「黒星病拡大防止緊急対策支援事業」を講じて拡大防止に努めているようだが、被害果の埋め立て処分について、機械がない農家には大きな負担となっている。

廃棄方法を示し、廃棄場所の設置が必要ではないか。

答 (村長) 廃棄方法はチラシを配って周知徹底に努めている。

廃棄場所は農家からの要望を受けて検討したが、菌が付着した葉や実を運搬する際に菌がほかの園地へ拡散するおそれがあること、耕種的防除として園地内でのすき込みによる処分が望ましいとされていることから、廃棄場所は設置せず、それぞれの園地で処分していただくこととした。

問 (イ) 人的要因により、自力での

すき込みが困難な場合を想定していたか。

答 (産業課長) そのような場合は、一例でシルバー人材センターのような機関に作業を依頼する方法や、黒石地区清掃施設組合に搬入する方法がある。搬入のことは同じチラシにも載せている。

問 (ウ) 薬剤経費の補助とともに、焼却処分に至った際の費用も補助が必要ではないか。

答 (産業課長) 施設への搬入はすき込みが困難なときのやむを得ない方法としてチラシに載せたもので、運搬中に菌が飛散して被害が拡大する可能性も否めない。

青森県のりんご生産指導要項に則り、園地内でのすき込みによる処分が第一であり、焼却処分の費用を補助する考えはない。

福地 誠 議員

りんごの黒星病対策

問 (ア) 「黒星病拡大防止緊急対策支援事業」について、昨年度の件数と申請額を示せ。

答 (村長) 申請は45件、額は32万4,500円だった。

問 (イ) 今年度は、薬剤経費のう

ち一定額10aあたり2,500円を補助するようだが、その額に設定した理由は。

答 (村長) りんご病害虫防除歴で追加変更となった薬剤の費用1/2相当とした。

川部駅北部の踏切

問 (ア) 交通量、人通りがともに多い踏切だが、複線の片側はコンクリート製のまくらぎ、もう片側は木製で段差が多く、スムーズに踏切を渡れない。

まくらぎをコンクリート製にして、段差を解消できないか。

答 (村長) 踏切の改修や道路の拡幅などをJR東日本と協議していたが、金額面で結論が出せず、断念している。

踏切周辺の整備を進めていくうえで、再度協議を検討したい。

問 (イ) 県道136号常盤新山線から踏切までの村道について、拡幅整備の進捗状況は。

答 (村長) 住民の皆様からご協力をいただき、今年度中に完了する予定で順調に進んでいる。

防災対策

問 (ア) 全国各地では様々な災害が発生している。村では昭和50年に集中豪雨で浅瀬石川が氾濫する大水害

があり、八反田、前田屋敷、土矢倉地区などが浸水した。

浅瀬石川の河川敷は雑木の伐採、草刈り、河川からの土砂の取り除きなどが現状でも必要ではないか。

答 (村長) 河川敷の整備は防災の観点でも重要であり、管轄の中南地域県民局へ引き続き要望する。

問 (イ) 自主防災組織は、現在何地区が取り組んでいるか。

答 (村長) 9地区で組織されており、この自主防災組織による村内カバー率は57.9%となる。

問 (ウ) 大規模な防災訓練は予定しているか。

答 (村長) 想定する災害の種類と規模によって参加する団体や地区、内容が異なるため、具体的な計画はまだないが、関係する団体と協議しながら検討したい。

平川 重廣 議員

洪水ハザードマップ

問 (ア) 浸水区域にある諏訪堂・大根子・豊蒔・大袋・川部・和泉地区の住民は避難場所が明確に指定されていないが、どのように想定しているか。

答 (村長) 全ての避難場所で被災者を受け入れるべきものと考えている。被害の状況によっては、各避難場所への誘導も想定している。

問 (イ) 高齢者や要支援者の個別計画は策定しているか。

策定していれば、どのような対応を取るのか。



昭和50年8月20日の洪水被害(写真は前田屋敷地区)

答 (村長) 個別計画はまだ策定していないが、支援が必要とされる方の避難には住民の協力が必要であり、その方々の情報を民生委員と共有しながら、災害時に対応できるよう備えている。

問 (ウ) 避難場所はどれくらいの人数を収容できるか。また、各地区ごとに避難先を指定する考えはあるか。

答 (村長) 全体では3,490人収容できる。

いつ、どこで、どのような洪水になるか想定はできず、避難場所を指定したことで被災されるおそれがあるため、地区ごとには指定しない。

問 (エ) 避難時の誘導體制はどのようになっているか。

答 (村長) 避難指示等の発令により、報道機関と連携しながら、テレビやラジオ、防災無線、広報車を使って周知を図るほか、行政連絡員や民生

委員とも連絡を取り合い、自主防災組織や地区の方々に協力をいただきながら誘導することになる。

問 (オ) 水害に備えて、諏訪堂・大根子・豊蒔・大袋・川部・和泉地区の共同避難施設を設置してはどうか。

答 (村長) 河川の氾濫危険水位になる前、住民が避難に必要な時間を考慮した水位に達した時点で避難指示を発令することになっているため、そのような施設を設置する考えはない。

鈴木 孝一 議員

ふるさと納税

問 福岡県の自治体を視察した際、ふるさと納税の税収が5億円以上に増えた事例の研修を受けた。

村の平成29年度決算のうち、ふるさと納税の税収は114万円となっているが、増収に向けて今後の対策を考えているか。

答 (村長) 村が導入している既存サービスに連携できる新たなサービスを追加して、利便性を向上させる。

より関心を持っていただけるように、返礼品をさらに検討しながら、ホームページを更新してPR強化を図りたい。

品川 正人 議員

児童、生徒の自転車保険

問 (ア) 自転車に乗っている方が歩行者に衝突して大ケガを負わせたり、被害者が死亡するような事故が



平成25年9月16日の内水氾濫(写真は大根子地区)

近年増え、加害者に高額な賠償命令の判決が出されることも多くなっている。児童、生徒による自転車事故の発生状況を示せ。

答（教育長）※紙面は表で掲載

小学校	
年 度	件 数
30(現在)	1
29	1
28	1
27	0

中学校	
年 度	件 数
30(現在)	2
29	0
28	
27	

問（イ）任意の自転車保険は様々な商品があるようだが、車の自賠責保険のような義務化されている保険はない。

児童、生徒の保険加入の実態はどうなっているか。

答（教育長）中学校は自転車通学のため、学校を通じて民間保険会社の賠償責任保険を紹介しており、179人中101人が加入している。加入率は56.4%となる。

小学校は学校を通じて保険の紹介をしていないため、実態は把握していない。

問（ウ）自転車保険に関して、村はどのような対応をしているか。

答（教育長）保険加入の必要性は

認識している。

全ての児童、生徒は自転車の賠償事故補償を含むPTA安全互助会の「学校管理下外」保険に加入しているが、賠償金額は300万円と低い。ため、中学校では学校を通じて保険を紹介している。しかし、あくまでも任意で、義務化はしていない。

問（エ）保険加入の義務化に向けた条例の制定を目指している自治体もあるようだが、どう考えているか。

答（教育長）条例制定は考えていない。

学校教育の役割として、小・中学校では自転車の乗り方や安全確認、「自分の命は自分で守る」ことを指導しており、引き続き交通安全指導に努めていく。

小・中学校でのいじめ

問（ア）いじめが発生した事案や、把握した件数を示せ。

答（教育長）※紙面は表で掲載

小学校	
年 度	件 数
30(現在)	6
29	4
28	1
27	0

中学校	
年 度	件 数
30(現在)	8
29	16
28	22
27	17

内容は冷やかしかからかい、悪口などだが、幸いにして、いずれも生命や心身、財産に重大な被害が生じたケースはなかった。

問（イ）その事案に対し、どう対応し、どのような結果になったか。

答（教育長）子どもの安全を確保し、被害・加害者へカウンセリングを行ったうえで、校内いじめ対策委員会等で情報共有や対策にあたっているほか、それぞれの保護者と面談も行っており解決を図っている。

解決後も見守りやフォローアップを注意深く行い、再発防止に取り組んでいる。

問（ウ）いじめ防止に向けての取り組み状況は。

また、いじめの状況を早期に把握するため、家庭とどのように連携しているか。

答（教育長）村や各学校では、いじめ防止に対する基本方針を定め、対策の在り方やコミュニケーションを図る環境づくり、重大な事態への対処などを示している。

また、ソーシャルワーカーとスクールカウンセラーを配置して、校内の支援体制を構築している。

家庭との連携では、毎年アンケートを実施しており、参観日や学級懇談をはじめ、民生委員、青少年問題協議会、PTAなどで情報交換を行って、いじめの未然防止に努めている。

保護者による子どもの虐待

問 幼い子がひどい虐待を受けた事件を報道でよく目にするが、子どもが虐待や暴力を受けた事案はあるか。

答（村長）子どもに対するしつけが激化した結果、ケガをさせてしまった事案が1件発生したが、保護者と子育てについて面談をしながら、見守りを継続している。

村内では今のところ、報道で目にするような痛ましい虐待の事案は確認されていないが、関係機関とともに情報を共有する体制を強化し、虐待の兆候を早期に発見できるよう取り組んでいく。



中学校自転車点検

9/2 ▶ 村の部3位入賞！



第26回青森県民駅伝競走大会が青森市で開催され、村の選手団が出場しました。

選手団は村出身者や陸上競技協会のほか、中学校からの推薦者で構成され、大会では青森市内の8区間33.8kmを1時間59分8秒・市町村総合22位で完走し、村の部で入賞を果たしました。また、5区を走った宮川真鈴さん(中学校3年・川部)が村の部で区間賞に輝きました。

1区：阿保 昂太朗 (27)	5区：宮川 真鈴 (15)
2区：浅原 壮介 (13)	6区：工藤 優太郎 (23)
3区：須藤 知洋 (40)	7区：相馬 萌李 (15)
4区：山田 凌 (16)	8区：今 柊貴 (15)

全国大会出場に向けて

8月に十和田市で行われた JOC ジュニアオリンピックカップ第31回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック予選会に出場した館城スポーツ少年団のマロー高尚さん(5年・弘前市)が学年別個人戦で優勝、工藤光晟さん(4年・田舎館)が3位入賞を果たし、それぞれ全国大会への出場権を獲得しました。

9月3日、12月に東京都で行われる本戦に向けて工藤さんが村長へ大会出場を報告し、「東北大会のときよりも本気の心でいく。まずは初戦の勝利を目標に、得意な素早い相撲をとりたい」と気持ちを新たにしていました。また、都合により同席できなかったマローさんは、後日本誌に「去年の全国大会はベスト8。よい立合いを心がけ、今年は優勝を目指したい」と意気込みを話してくれました。



9/14 ▶ 長寿と健康を祝って



敬老会を村民体育館で行い、70歳以上の村民約240人が出席しました。今年、村内の顕彰対象者は白寿(99歳)2人、米寿(88歳)60人、金婚(結婚50年目)33組となり、式典では出席した米寿20人、金婚12組の顕彰を祝い、村長が賞状と記念品を手渡したほか、出席者は文化協会が披露したカラオケや踊りなどのアトラクションを楽しみました。

顕彰を受け取った米寿の白戸マキさん(前田屋敷)は「人生の節目をお祝いできてうれしい。健康のため、食べるものは気をつけている。畑をやっている、毎日歩いたり、自転車に乗ったりしていたことも良かったのかな」と喜びを噛みしめていました。

記念の年は川部・和泉チームが2連覇を達成！ 第60回地区対抗野球大会



優勝 川部・和泉
最優秀選手賞：葛西優太

準優勝 畑中
優秀選手賞：山口冬馬

第3位
堂野前、諏訪堂



9月9日と16日、体育協会主催の地区対抗野球大会が小学校グラウンドと中学校野球場で行われました。昭和31年に始まり60回目を迎えた今年は13チームが出場し、トーナメントで2週に渡り熱戦を繰りひろげました。また、決勝戦では村長が始球式をするサプライズがあり、節目の大会に花を添えていました。

最優秀選手賞に輝いた葛西優太さん(23・川部)は、「2連覇がかかっていて、いいところで打ててよかった。社会人クラブチームで硬式野球をしているが、来年に備えて軟式にも慣れておきたい。帰ってからの祝杯が楽しみ」と話し、自信をのぞかせながら試合をふり返っていました。最年長プレーとして大会本部から特別賞が贈られた田澤克泰さん(82・諏訪堂)は、「かれこれ50年以上参加していて、子どもから大人まで集まるこの大会が大好き。人の都合が合わなかったり、自分が体調を崩したりで不参加のときもあったが、次回も楽しみにしている」と笑顔を見せていました。

村にまつわる情報を集めて

役場の長期間インターンシップとして、行政の手続きや地域の情報を1冊にまとめた「村民便利帳」の制作に携わる弘前大学の学生が、商業や住民の生活に関する情報収集に取り組んでいます。

8月29日、佐々木健人さん(人文社会科学部2年・弘前市)と鎌田翔至さん(人文社会科学部1年・北海道網走市)が商工会取材し、商工会の役割や村にある中小企業の現状、経営支援の仕組みなどについて知識を深めました。9月5日には地区会の調査として、鎌田さんが十二川原地区で行政連絡員を務める品川新一さんへインタビューを行い、地区会の運営や住民が集う行事の重要性、暮らしの相談に応じる民生委員の存在などを聞き取りました。





役場からの情報

☎ 58-2111 (代表)

お問い合わせの際は、各課の内線番号をお伝えください。

今月の納税相談

	と き	ところ
休 日	10月28日(日) 午前9時～午後4時	役場1階 税務課
夜 間	10月31日(水) 午後5時～午後7時	

▷問い合わせ／税務課税務収納係(内線123)

今月の納税

村県民税(3期)、国民健康保険税(4期)、介護保険料(4期)、後期高齢者医療保険料(4期)

▷問い合わせ／

村県民税…税務課税務収納係(内線124)

国民健康保険税…税務課税務収納係(内線123)

介護保険料…厚生課介護保険係(内線156)

後期高齢者医療保険料…住民課国保年金係(内線161)

今月の粗大ごみ収集日

10月24日(水)

▷問い合わせ／住民課生活環境係(内線165)

役場閉庁日の火葬許可証発行

担当職員は自宅待機していますので、お手数ですが事前に役場へ電話連絡をお願いします。

○と き／11月3日(土)、10日(土)、

17日(土)、24日(土)

午前8時15分～正午

○ところ／役場1階住民課

▷問い合わせ／住民課住民係(内線163、164)



村議会委員会等の活動概況

以下の日程で委員会等の活動がありました。

○とき／8月29日(水)

議員全員協議会

内容／平成29年度地方創生推進交付金事業

ほか10件

議会運営委員会

内容／第3回議会定例会の会期日程等

▷問い合わせ／議会事務局(内線311)

国民年金だより

年末調整・確定申告まで大切に保管を！

保険料の控除証明書が発行されます

所得税や住民税の申告で、その年の1月1日～12月31日に納付した国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。この控除には、納付を証明する書類を添付しなければなりません。

今年の1月1日～10月1日に納付された方は11月に、10月2日～12月31日に今年のはじめて納付された方は翌年2月に、日本年金機構から社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が送付されます。

年末調整や確定申告までは大切に保管し、申告の際に必ず添付してください。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合は、本人の社会保険料控除に加えることができますので、申告の際にはご家族に送られた控除証明書を添付してください。

控除証明書の照会は、控除証明書のはがきに表示されている電話番号にお問い合わせください。

年金を受給している方へ

扶養親族等申告書の提出を忘れずに

障害・遺族年金以外の老齢や退職を支給事由とする年金は、所得税法によって雑所得となり、所得税・復興特別所得税の課税対象とされています。

毎年9月下旬～10月上旬に日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、期限までに必ず提出してください。

年金に関する所得税・復興特別所得税の額は、この申告書によって計算されます。もし提出を忘れると控除が受けられず、所得税の源泉徴収額が多くなる場合がありますのでご注意ください。

なお、年金以外に収入がある方は、確定申告が必要です。

○送付される方／

年 齢	年金額
65歳未満	108万円以上
65歳以上	158万円以上

○提出期限／10月31日(水)

▷問い合わせ／住民課国保年金係(内線162)

弘前年金事務所 ☎ 27-1339

村民パフォーマンス選手権の出場者募集

11月17日（土）と18日（日）に開催する収穫感謝祭＆シクラメン市では、1日目の恒例イベントとして、子どもから大人まで幅広い世代の方々が歌やダンス、特技、隠し芸などの十八番芸を披露する村民パフォーマンス選手権（Oh!Ha!コンテスト）を今年も行います。

入賞者には賞品をご用意していますので、これから十八番芸を練習する方、すでに十八番芸をお持ちの方など、個人やグループでお気軽にご参加ください。

○と き／11月17日（土） 午前10時～正午

○ところ／文化会館1階文化ホール

○応募資格／次のいずれかに該当する方

①村民

②村にゆかりのある方

③十八番芸を披露したい方

○応募締切／11月8日（木）

▷問い合わせ／企画観光課企画係（内線 244）

人権・行政相談

法務省は、村の人権擁護委員に品川才太郎さん（十二川原）を10月1日付けで委嘱しました。

人権擁護委員は身近な相談パートナーとして、人権擁護の活動を積極的に行っています。

毎月、役場で人権・行政相談を開設し、女性や子ども、高齢者、障害がある方など、人権をめぐるトラブルの相談に応じています。相談は無料で、秘密は守ります。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。



○と き／11月14日（水） 午前9時～正午

○ところ／役場1階相談室

▷問い合わせ／住民課住民係（内線 164）

子どものインフルエンザ予防接種にかかる費用を助成します

冬場が近づくにつれ、インフルエンザの流行が懸念されます。

ワクチンの接種後、免疫効果が出るまで2～4週間ほどかかりますので、流行する前の11月中に接種しましょう。

指定の医療機関はありませんので、ご希望のところで接種後、役場1階厚生課に申請してください。

○対 象／接種日の時点で生後6ヶ月～中学校3年生

○助成内容／1回2,000円上限

年度内で1人につき1回（13歳未満は2回）です。

○接種期間／11月1日（木）～平成31年1月31日（木）

助成金の申請

○持参するもの／①インフルエンザ予防接種をしたことがわかる領収書（レシート不可）、②口座振込用の通帳、③印鑑

以上の3点がないと受け付けできない場合があります。

○申請期限／平成31年2月15日（金）

▷問い合わせ／厚生課健康推進係（内線 152、153）



進学する方へ 奨学生を募集します

教育委員会では、奨学金を貸与する奨学生を募集します。入学する学校が決まっていなくても、進学する予定であれば奨学生の手続きができます。

願書は役場3階教育課でお渡ししています。詳しくは村のホームページをご覧ください。

○対 象／来年度に進学する予定の方や在学中の方

○種 類／修学資金、入学支度金（金額は学校によって異なります。）

○受付期間／11月1日（木）～30日（金）

（土・日・祝日を除く）

▷問い合わせ／教育課学務係（内線 332）

☎ 58-2363（直通）

子宮がん・乳がん・骨密度検診

女性を対象にした集団検診は、11月に実施するものが今年度の最後となりますので、希望される方はお早めにお申し込みください。検診ごとの対象年齢は、各戸にお配りしている「健康ごよみ」をご覧ください。

すでに申し込みをされていて、受診票がお手元にない場合はご連絡ください。

○と き／11月5日（月）

午前11時30分～午後1時30分 受付

午前11時30分～ 乳がん・骨密度検診

午後1時30分～ 子宮がん検診

※子宮がん検診のみを受ける方は、午後1時以降の受け付けをおすすめします。

○ところ／中央公民館

▷問い合わせ／厚生課健康推進係（内線 152、153）

新しい農業委員を紹介します

8月31日、任期満了に伴う新しい農業委員10人を村長が任命しました。

同日開催された組織会では、新しい委員によって会長や会長職務代理が互選されたほか、法律の改正によって新設された「農地利用最適化推進委員」6人に会長から委嘱状が交付され、16人による新体制がスタートしました。

○任 期／8月31日～2021年8月30日の3年間

○農業委員／農地法に基づき、農地の賃借や売買、転用許可などを審議します。また、推進委員とともに、農地の集約化、耕作放棄地への対応、新規就農の促進などに取り組みます。()は在住地区

 会 長 福士 眞規 (前田屋敷)	 会長職務代理 葛原 慶仁 (豊時)	 山本 久行 (大曲)	 福原 義明 (高田)	 工藤 浩司 (田舎館)
 鈴木 稔 (川部)	 中山 静子 (東光寺)	 白戸 陽平 (境森)	 田澤 隆 (諏訪堂)	 菊地 卓朗 (八反田)

○農地利用最適化推進委員／担当区域で適切な農地利用を推進する現場活動を行います。()は在住地区

 工藤 秀範 (高樋)	担当区域 高樋 十二川原 枝川 垂柳	 一戸 健策 (豊時)	担当区域 諏訪堂 大根子 豊時 大袋	 小山 清孝 (新町)	担当区域 前田屋敷 土矢倉 堂野前 新町
 岩間 孝治 (畑中)	担当区域 田舎館 八反田 畑中 大曲	 白戸 卓郎 (境森)	担当区域 川部 和泉 境森	 鈴木 哲也 (高田)	担当区域 東光寺 二津屋 高田

▷問い合わせ／農業委員会(内線131)

水道料金は便利な口座振替で



○利用できる金融機関／

- | | |
|----------------|----------|
| (ア) 青森銀行 | } (本・支店) |
| (イ) みちのく銀行 | |
| (ウ) 東奥信用金庫 | |
| (エ) 東北労働金庫 | |
| (オ) 津軽みらい農協 | |
| (カ) ゆうちょ銀行(全国) | |

口座振替の手続き

○(ア)～(オ)の通帳

通帳と届出印をご持参のうえ、金融機関の窓口へ預金口座振替依頼書を提出してください。依頼書は役場2階建設課でお渡ししているほか、金融機関の窓口にもありますが、支店によっては置いていない場合もありますので、あらかじめ役場2階建設課か金融機関にお問い合わせください。

○(カ)の通帳

通帳と届出印をご持参のうえ、ゆうちょ銀行の窓口で指定の書類へ記入し、お申し込みください。

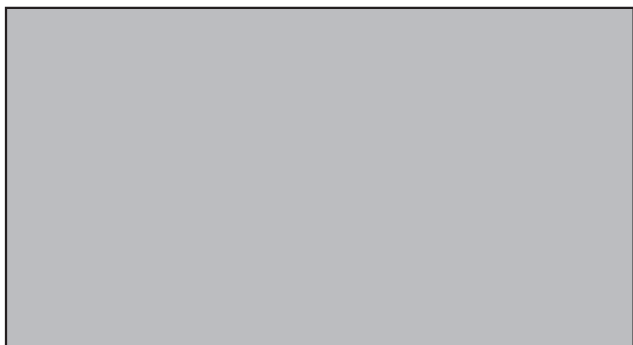
○注意事項

いずれの金融機関の場合も、お申し込みから口座振替の開始まで1～2ヶ月ほどかかることがあります。その間はお手数ですが納入通知書によりお支払いいただきます。

○振替日／毎月15日

休日の場合は翌営業日に振り替えとなりますので、振替日の前日までにご入金をお願いいたします。

▷問い合わせ／建設課業務係(内線234)



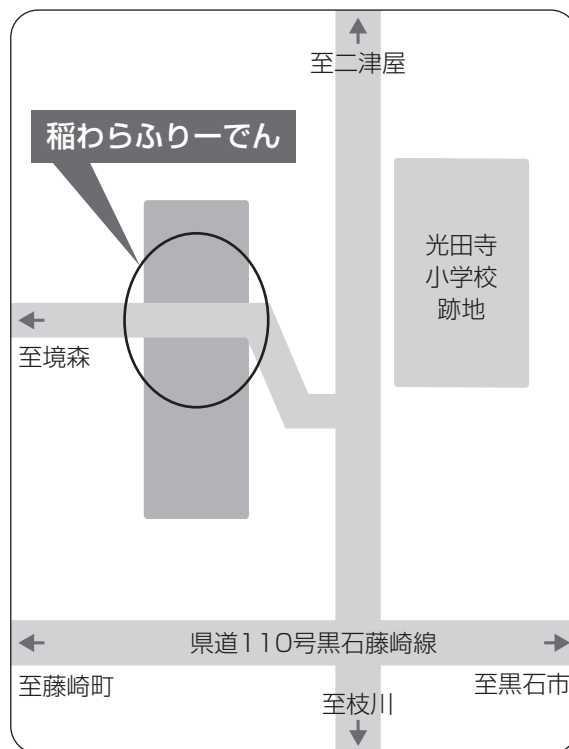
稲わらを無料で提供します

稲わらをより有効活用していただけるように、農家の方のご協力による「稲わらふりーでん」を次のとおり実施します。

家庭菜園や花の栽培、堆肥の原料、敷わらなどにぜひご活用ください。

○と き／10月20日(土)～なくなり次第終了

○ところ／堂野前字西田



緑色の旗が立っている田んぼから、自由に搬出してください。稲わらは1ロール約15～20kgです。



▷問い合わせ／産業課産業係(内線141)

国民健康保険運営協議会の委員が永年勤続者顕彰を受けました

平成19年4月から長きにわたって、村の国保運営協議会の委員を務められている葛原睦子さん(豊蒔)と白戸義教さん(境森)が、青森県国民健康保険団体連合会の永年勤続者顕彰に選ばれました。8月30日、役場3階第3委員会室で開いた協議会にて、村長が感謝状と記念品を伝達しました。

国保運営協議会とは

国民健康保険法で定められている組織で、住民(被保険者代表)や医療機関の関係者、公益(地方議会議員・人権擁護委員・保健協力員など)に資する方々が委員を務め、自治体が運営する国民健康保険の医療費や保険料などを審議しています。

▶問い合わせ／住民課国保年金係(内線162)



入札結果

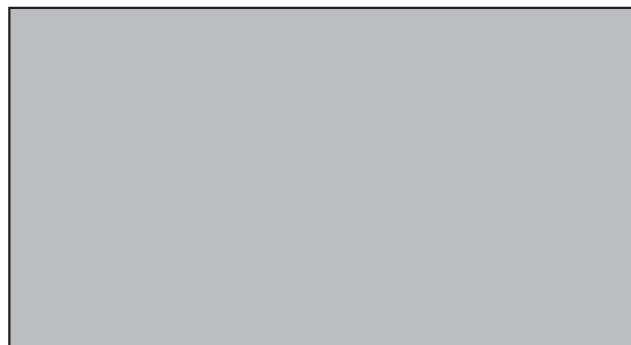
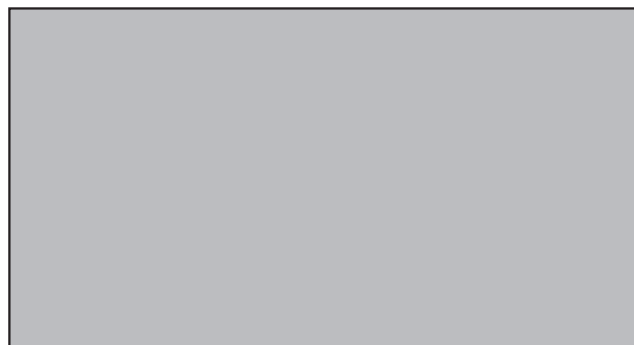
詳しくは役場2階総務課か、村のホームページで公表しています。予定価格と落札価格は消費税等込みの額です。

入札日	工事名	予定価格	落札価格	工事場所	業者名	工期
8/23	第25号：出稼ぎ農業者就業改善共同作業所解体工事	4,762,800円	4,514,400円	田舎館	(株)丸勝小野商事	11/30
8/23	第26号：川部8号線道路改良工事	6,976,800円	6,696,000円	和泉	(有)桜庭建設	12/27
8/23	第27号：川部8号線舗装工事	5,594,400円	5,400,000円	和泉	(株)阿保建設	12/27
8/23	上水工第2号：水道メーター取替工事(第1工区)	2,689,200円	2,592,000円	高樋ほか	(有)小林設備	11/9
8/23	上水工第3号：水道メーター取替工事(第2工区)	3,045,600円	2,916,000円	川部ほか	(有)小林設備	11/9
入札日	業務名	予定価格	落札価格	事業場所	業者名	終了日
8/23	垂柳線側溝整備測量業務	1,501,200円	1,382,400円	垂柳	東北建設コンサルタント(株)	11/22
8/23	下水道管路清掃・調査業務	3,713,040円	3,510,000円	田舎館ほか	豊産管理(株)	10/31

村有財産売却の一般競争入札

入札日	品名	参加者数	落札価格	落札者
9/13	除雪ドーザ(13t級)	8	5,734,800円	(株)北日本機械

▶問い合わせ／総務課管財係(内線223)



ひろさき広域出愛サポートセンター 休日登録会

弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村の弘前圏域定住自立圏では、会員制のお見合い事業を実施しています。登録会は予約不要です。

○とき・ところ／いずれも正午～午後4時



10月21日(日)	ヒロロ3階多世代交流室2
11月18日(日)	ヒロロ3階多世代交流室A
12月16日(日)	ヒロロ3階多世代交流室1
平成31年1月20日(日)	
2月24日(日)	
3月17日(日)	

▷問い合わせ／ひろさき広域出愛サポートセンター ☎35-1123 企画観光課企画係(内線244)

暮らしの情報

65歳以上の健康サポート教室

加齢に伴う転倒予防・認知症予防のために、ぜひお役立てください。

○とき・ところ／いずれも午後1時30分～午後3時

11月5日(月)	ふれあいセンター大広間
12日(月)	中央公民館大広間
19日(月)	ふれあいセンター大広間

○テーマ／足のマッサージ・健康体操

○参加料／無料

▷問い合わせ／村地域包括支援センター

☎58-3704

子育て女性の職場体験プログラム

青森県では、子育て女性の再就職を支援しています。仕事から長く離れている、違う働き方を知りたいなど、ご都合に応じて最大5日間の研修+職場体験のプログラムを実施しています。詳しくはホームページ <http://www.kosomori.com/> をご覧ください。

参加や託児は無料です。

○受付期間／10月～平成31年1月

▷問い合わせ／(株)JMTC内 こそもり事務局

☎0120-973-511

女性の人権 困りごと無料相談

弘前人権擁護委員協議会では、家庭や職場での男女差別、配偶者からの暴力など、女性の人権に関する相談会を開設します。

○とき／11月12日(月) 午前9時～午後3時

○ところ／青森地方法務局弘前支局2階

▷問い合わせ／青森地方法務局弘前支局

☎26-1150

相続登記はお済みですか

不動産の相続登記(名義変更)は、その所在地を管轄する法務局に申請してください。登記をしないままの間に相続人が死亡すると、相続権がある人が増え、様々な問題をひき起こします。

登記は早めに済ませ、トラブルを未然に防ぎましょう。

- 遺産分割の協議がまとまらない
- 所有権を移せず、土地が売れない
- 所有者不明で、不動産が荒廃している
- 災害復旧のような緊急の工事が遅れる

▷問い合わせ／青森地方法務局弘前支局(登記相談)

☎26-1150

45歳以上の再就職 無料セミナー

応募書類や面接など、就職活動のポイントを解説します。参加をご希望の方は、事前にお申し込みください。

セミナー後は、希望者の個別相談に応じます。

○とき・ところ／いずれも午後1時30分～午後3時30分

11月12日(月)	弘前文化センター2階 第一会議室
15日(木)	アピオあおもり1階 保健指導室

▷問い合わせ／ネクストキャリアセンターあおもり

☎017-723-6350

津軽地域の障害者就職面接会

参加をご希望の方は、事前にお申し込みください。

○とき／10月29日(月)

午後0時30分 受付

午後1時～午後3時30分

○ところ／アートホテル弘前シティ

▷問い合わせ／黒石公共職業安定所

☎53-8609

不動産の登記 無料相談会

土地の境界トラブル、家を新築・増改築した、土地を分けたいなど、窓口や電話で相談に応じます。

○と き／10月31日(水)

午前10時30分～午後3時

○ところ／青森県土地家屋調査士会

青森市勝田1丁目1-15

▷問い合わせ／青森県土地家屋調査士会

☎017-722-3178

定例労働相談会

労働者と事業主との間に生じた労働問題(解雇、賃金引き下げ、長時間労働、パワハラなど)に、青森県労働委員会委員が無料で相談に応じます。

○と き／

10月28日(日)	午前10時30分～午後0時30分
11月13日(火)	午後1時30分～午後3時30分
11月18日(日)	午前10時30分～午後0時30分

○ところ／みどりやビル7階(青森県庁国道向かい側)

▷問い合わせ／あおり労働相談ダイヤル

☎0120-610-782

青森県立美術館 映画上映 特集“わたしの家族、家族のわたし”

往年の名作家族映画を35mmフィルムで上映します。
時間やチケットの購入はお問い合わせください。

○と き／10月19日(金)～21日(日)

○上映作品／煙突の見える場所、この広い空のどこかに、裸の島、名もなく貧しく美しく

○前売料金／通し券1,500円、1日券1,000円 ほか

▷問い合わせ／青森県立美術館

☎017-783-5243

多重債務の相談

借金の相談のほか、状況に応じて弁護士や専門機関に引き継ぎも行います。秘密は守りますので、お気軽にお話しください。

○と き／毎週月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前8時30分～正午

午後1時～午後4時30分

○ところ／青森合同庁舎3階

▷問い合わせ／東北財務局青森財務事務所

☎017-774-6488

2019年の農業用軽油引取税免税証

申請書類は、中南地域県民局県税部か、農協の各支店に用意しています。

○申請期間／11月5日(月)～30日(金) ○受付場所／弘前合同庁舎本館2階 中南地域県民局県税部

必要なもの	申請者	個人・共同			組合・法人		
		新規	継続	更新	新規	継続	更新
簡易書留封筒(402円分の切手貼付) ※1		○	○	○	○	○	○
免税軽油使用者証(共同) 交付申請書 ※2		○	—	○	○	—	○
免税証交付申請書		○	○	○	○	○	○
所要数量計算書		○	○	○	○	○	○
農業委員会が発行する耕作証明書		○	○	○	○	○	○
免税軽油使用計画書(様式任意)		▲※3			○	○	○
// 使用実績書・受払書(様式任意)		—	▲※3		—	○	○
組合(法人)の定款・規約・商業登記簿謄本等		—	—	—	○	—	—
組合員名簿(全員の押印があるもの)		—	—	—	○	○	○
使用機械の譲渡証明書(販売証明書)		○	—	▲※4	○	—	▲※4
県証紙400円分貼付の県税関係証明等原簿		○	—	○	○	—	○
誓約書		○	—	○	○	—	○
前回交付の使用者証		—	○	○	—	○	○
免税軽油の引取等報告書		—	○	○	—	○	○
// の引取等報告書の提出期限の特例申請書		▲※5			▲※5		

(○=必須 ▲=該当する方のみ提出)

※1 免税証の交付枚数が多い方は、切手代が増える場合があります。

一例で、60枚を超える方は450円分、120枚を超える方は515円分が必要です。

※2 親子間で使用者証の名義が変わる場合は、戸籍抄本等が必要です。

※3 個人・共同の申請者で、使用計画がある場合は提出してください。

※4 使用機械に変更がある方は更新の申請となり、新しい機械の譲渡証明書が必要です。

※5 報告書を6ヶ月分まとめて提出する場合に提出してください。

▷問い合わせ／中南地域県民局県税部 ☎32-1131

いろんなイベントに出掛けよう！

津軽広域連合だより

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害支援区分判定審査のほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

大鰐温泉もやしフェスタ

大鰐町

約400年の歴史がある大鰐温泉もやしにスポットをあてた、大鰐温泉もやしフェスタを今年も開催します。

大鰐温泉もやしを限定販売するほか、みそや塩味のもやしスープを販売します。町内各所でクイズに挑戦するクイズラリーでは、正解者先着100人に町内で使える「大鰐温泉もやしラーメン無料券」をプレゼント！

ご家族みんなで楽しみましょう！！

と き 11月24日(土)、25日(日)

午前10時～午後4時

ところ 鰐come ほか

問い合わせ 大鰐温泉もやし増産推進委員会事務局
☎88-6690



第6回ふじさき秋まつり

藤崎町

藤崎町の二大特産品であるりんごと米の収穫感謝祭を開催します！

町産りんごを使った直径2mのジャンボアップルパイと、青森県初の特A米「青天の霹靂」を使った高さ2mのジャンボおにぎりを無料で振るまいます。地元農産物の直売や軽食などが出店するほか、芸能発表、健康づくりフォーラムも開催します。

ご家族そろってお越しください！

と き 11月17日(土)、18日(日)

午前9時30分～午後3時

ところ スポーツプラザ藤崎 ほか

問い合わせ 藤崎町企画財政課 ☎88-8258



と き	イベント名	内 容	問い合わせ
～ 11月中旬	大鰐観光りんご園	大鰐町内のりんご園で、もぎたてのりんごにかぶりついてみませんか？	山田薫園 ☎080-5572-8244、山田梅雄園 ☎090-2028-5947、原子一行園 ☎090-8922-6203、山田敏彦園 ☎090-2026-0666
13～ 11/4	中野もみじ山(紅葉・ライトアップ)	紅葉の中、期間中は灯ろうでのライトアップや11/3にはキャンドルナイトも開催。	黒石市観光課 ☎52-2111(内線647)
14	堀越城秋まつり	整備が進む堀越城でミニシンポジウムやジャズコンサート、整備現場の見学会などを開催。	弘前市教育委員会文化財課 ☎82-1642
10月 19～ 11/4	金平成園一般公開	別名「澤成園」で知られる金平成園は、平成18年に史跡名勝天然記念物に指定されました。	黒石市文化スポーツ課 ☎52-2111(内線622)
19～ 11/11	弘前城菊と紅葉まつり	紅葉の特別ライトアップを行うほか、今年はねぶた絵と菊人形がコラボします。	弘前市立観光館 ☎37-5501
20・21	全国伝統こけし工人フェスティバル	全国の伝統こけし工人が一堂に集結。特徴ある全国各地のこけしの展示即売会を行います。	津軽こけし館 ☎54-8181
20・21	白神山地ビジターセンターふれあいデー	大型映像で見る特別上映や体験コーナー、グルメなど様々な催しが行われます。	白神山地ビジターセンター ☎85-2810
26～28	津軽の食と産業まつり(弘前市)	津軽の食と産業をテーマに地元生産品などを紹介するほか、野外テント村や催しが多数あります。	同運営協議会事務局 ☎33-4111
11月 17・18	黒石りんごまつり	りんごの即売会やふるさと物産展のほか、田中けいと歌謡ショーなど多数のイベントが開催されます。	黒石市観光課 ☎52-2111(内線647)
17・18	収穫感謝祭&シクラメン市	シクラメンなど約5,000鉢の花々を展示販売！その他たくさんのイベントが目白押しです。	田舎館村企画観光課 ☎58-2111
18	第48回西目屋村 村民文化祭	村民による芸能発表や作品展、各種体験コーナーを開催します。	西目屋村教育委員会 ☎85-2858
23	食&農フェスタ	板柳町産のりんごやお米など、良質な農産物を堪能できる催しが盛りだくさん！	板柳町産業復興課 ☎73-2111
23	アップルフェア in 鰐come	地元農家による農産物の販売、アトラクションなどを用意してお待ちしております。	JAつがる弘前大鰐購買センター ☎48-3164
下旬～ 2月上旬	平川市イルミネーション プロムナード	平賀駅前をイルミネーションでライトアップするほか、台湾の提灯も設置します。	平川市経済部商工観光課 ☎44-1111
12月 1・2	第45回町民祭	板柳町民の活動や成果を披露。農産物などの即売会や体験コーナーもあります。	板柳町総務課 ☎73-2111
1～1/6	りんごの里イルミネーション	イルミネーションアーチやモニュメントが夜空を照らし幻想的な世界を演出します。	板柳町企画財政課 ☎73-2111



戸籍の窓

8月21日～9月20日受付
村に現住所がある方を掲載しています。

敬称略

ご結婚おめでとうございます

（鈴木 健太 高 田
石川 美彩子 青 森 市
（白 戸 孝 義 境 森
小 坂 まりな 八 戸 市
（成 田 章 浩 板 柳 町 森
成 田 美 彩 境 森



おくやみ申し上げます

阿 保 鐵 正（85歳）八 反 田 相 馬 ミ ツ（90歳）八 反 田
三 上 善 助（88歳）十二川原 福 井 キミエ（83歳）川 部
相 馬 進（78歳）垂 柳 工 藤 美代子（64歳）田 舎 館
佐 藤 徳 美（86歳）高 田 田 上 隆 行（74歳）十二川原
阿 部 弘（83歳）畑 中 山 本 喜四郎（81歳）川 部
中 山 フ ヨ（90歳）東 光 寺



交通事故概況

（9月末日現在）

	県 内	村 内
件 数	217(2,095)	1 (22)
死 者	6 (34)	0 (0)
傷 者	265(2,575)	2 (28)
（ ）は1月からの累計		

人口と世帯

（9月末日現在）

男	3,732	（-4）
女	4,163	（-4）
計	7,895	（-8）
世帯	2,766	（+2）
（ ）は前月との比較		

図書室だより 新刊のご案内

▶問い合わせ／中央公民館 ☎58-2250

- ・臨終定年 田中真澄／著 ぱるす出版
- ・いま君に伝えたいお金の話 村上世彰／著 幻冬舎
- ・看護師も涙した老人ホームの素敵な話 小島すがも／著 東邦出版
- ・みそ汁はおかずです 瀬尾幸子／著 学研プラス

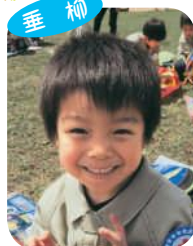
- ・ナナメの夕暮れ 若林正恭／著 文藝春秋
- ・愛なき世界 三浦しをん／著 中央公論新社
- ・きのうの影踏み 辻村深月／著 KADOKAWA
- ・日傘を差す女 伊集院静／著 文藝春秋
- ・ウインナさん YUMOCAM／著 白泉社
- ・たべたよクマタン わかつきちなつ／著 主婦の友社

ほか



Happy Birthday 10月生まれのおともだち

垂柳



肥後 心清くん

H24/10/23生
「頼りになる男、心さん☆保育園でたくさん思い出づくってね♡♡♡!!」

八反田



太田 真秀呂くん

H28/10/20生
「我が家のわんぱくBOY♡元気いっぱい大きくなーれ!!」

東光寺



中村 心咲ちゃん

H29/10/20生
「中村家の小さな怪獣! 食いしん坊でたくさん食べます♡」

十二川原



品川 想和ちゃん

H26/10/22生
「これからも元気に、みんなを楽しませてください!!」

垂柳



小野 凱士くん

H26/10/26生
あいら
愛莉ちゃん
H28/10/22生

「妹想いのお兄ちゃん、お兄ちゃんが大好きな妹です。いつまでも仲良くでいてね♡」

※11月生まれのお子さん募集(10/19締切) ①氏名(ふりがな) ②生年月日 ③住所 ④保護者氏名 ⑤コメントを添え、写真を企画観光課企画係へ持参か郵送(写真は後日返送)、または電子メールでpublic-info@vill.inakadate.lg.jpに画像をお送りください。

誘致企業だより

株式会社ホクエツ東北 津軽営業所・弘前工場



(株)ホクエツ東北はコンクリート二次製品の製造や販売を主とする企業で、現在の津軽営業所・弘前工場は旧(株)ホクエツの川部工場として、昭和44年に村へ設立されました。製品は道路や河川など、環境基盤の整備に多く使用されており、主要製品はボックスガルバート類やL型擁壁をはじめ、道路用側溝、農業用水路、河川用コンクリートブロックなど様々な用途のものを扱っています。

また、ユニバーサルデザインを取り入れた側溝、ごみから出た溶融スラグを取り入れたコンクリートなど、人や環境への配慮にも取り組んでいます。従業員は地元採用の方針をとっており、東日本全域にネットワークがあるグループの一員として、「技術で発展、品質で奉仕」を目標に、現在46人が業務に取り組んでいます。

今月の
表紙

いちごのスイーツが大集合



8月25日と26日、田んぼアートの里ブランド化推進協議会主催のいちごフェスタが、道の駅いなかだて「弥生の里」で開催されました。村産いちごの特製スイーツを販売した各ブースは昨年に続いて大盛況となったほか、ステージでは「にゃんごすた〜」によるドラムプレイも披露され、2日間にわたり多くの来場者で賑わいを見せました。

小学校6年生 今月の題字



葛西純白くん(前田屋敷)
「ミニバススポーツ少年団でキャプテンをしています。11月に予選があり、まずは県大会を目指して試合に臨みます!」



村の木 サイカチ



村の花 稲の花